



「横浜夜景美術館」について

これは横浜の夜景のための三日限りの美術館です。

横浜の夜景は綺麗です。

でも、大きな大きな筒はせつかくの夜景を隠します。中はもう、真っ暗です。

でも、だからこそ、横浜の夜景の美しさにあらためて気付けます。

じーっと覗く。じーっと聴く。

ふと灯台の明かりが差し込み、消える。

ふと観覧車の明かりが差し込み、消える。

ふと電車の音が響き、消える。

ふと酔っぱらいの笑い声が響き、消える。

ここには時々刻々と変化する「夜景が描く“夜景”」が広がります。

これはもはや単なる夜景を超えて、横浜のまちの豊かな営みそれ自体を独り占めしているようです。

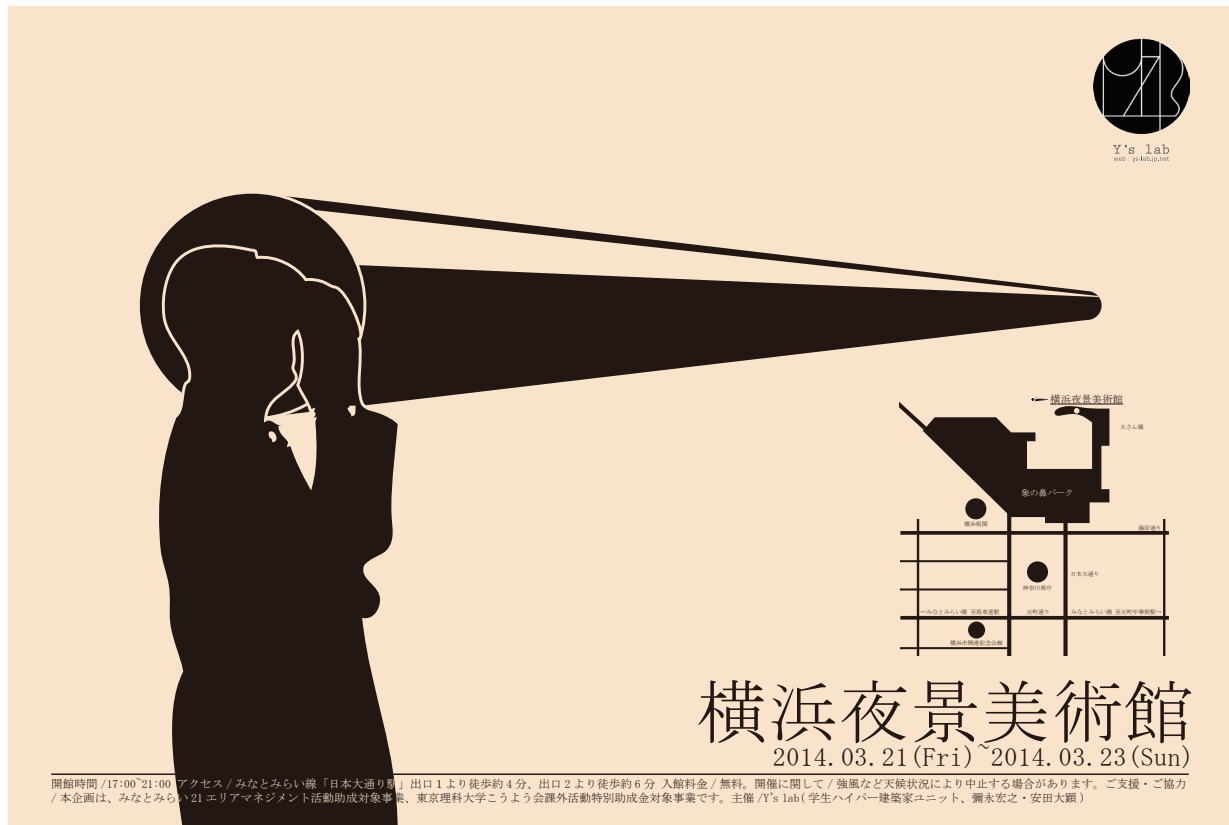
やはり、横浜の“夜景”は綺麗です



Y's lab
企画・設計・施工・運営

Y's labは薮永安之/engineer、安田大顕/desingerによる学生ハイパー建築家ユニットです。

活動報告書



横浜夜景美術館 /Y's lab

[活動内容]

みなとみらい象の鼻パーク堤防部分に、全長30m、直径30cmの巨大な筒を建て、その中を来館者が1人ずつ覗くものです。筒の先に見える風景は小さく、もはやどこが見えているのかよくわかりませんが、自動車のヘッドライト、観覧車の明かりが差し込んだり、電車や海の音が響いたりします。そしてそれらは30mの筒の中で繰り返し反射、反響します。ここに、普段の夜景をより純化した「夜景による“夜景”」が創造され、私たちは美しい横浜の夜景を再発見します。



[活動効果]

1. 象の鼻パークの有効活用

これまで象の鼻パーク先端部分はあまり利用される事が無く、場所としてのポテンシャルを十分に活かしきれていませんでした。今回の企画の実施を通じて、今後より多くの魅力的な空間利用が期待されます。

2. 観光資源の再発見

ここ数十年で築き上げてきた「横浜の夜景」という観光資源を、これまでとは違った視点から、より強力な方法で再確認することで、「横浜の夜景」の価値向上に繋がります。



[活動展望]

今回の企画を通じて、「実際にモノを制作して人々に体感して頂くことの大切さ」を改めて痛感しました。この経験を踏まえ、今後も建築を中心としたモノ・コトのデザインを社会へ向けて発信し、その中でまだ明らかでない横浜・みなとみらいの魅力を発見できればと思います。

収 支 決 算 書

団体名 Y's lab

1 収入

項 目	金 額	説明（負担者及び負担方法等）
交付された助成金（A）	50,000	
東京理科大学こうよう会課外活動特別助成金	41,000	負担者：東京理科大学こうよう会父母会
個人負担	31,514	メンバー二人で折半
合 計	122,514	

2 支出（助成金対象経費分）

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
材料代	1	1	89,249	ボイド・丸棒・模型材料・塗装材・ビス等
印刷代	1	1	9,280	フライヤー用のポストカード
レンタカー・ガソリン代	1	1	23,985	搬出・搬入の計2日分
合 計（B）			122,514	

3 決算後の助成金の額

【みなとコース】

- (1) (A) ≤ (B) の場合 (A) の額 ￥50,000.-
(2) (A) > (B) の場合 (B) の額 ￥. -

【みらいコース】

- (1) (A) ≤ (B) × 4 / 5 の場合 (A) の額 ￥. -
(2) (A) > (B) × 4 / 5 の場合 (B) × 4 / 5 の額 ￥. -